

地域共生社会づくりに向けて

～ 地域の資源（リソース）の活用を中心に

令和6年1月

蒲原基道

（日本社会事業大学専門職大学院客員教授）

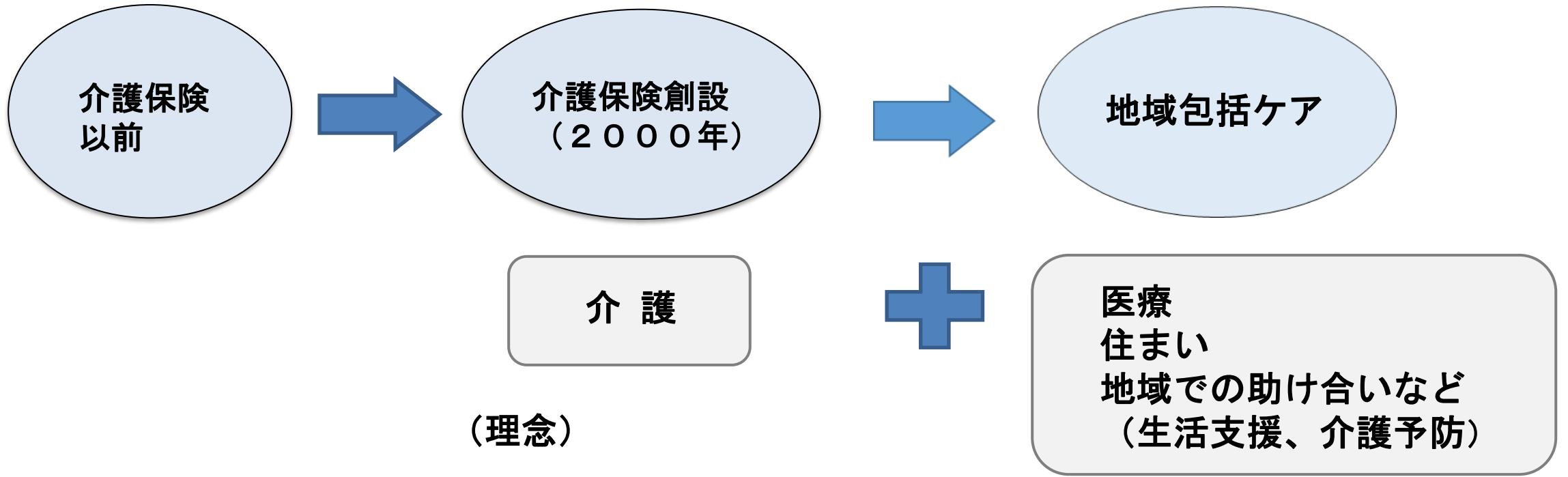
目次

1. 地域包括ケアシステムの深化
～ 介護保険からの動きも含めて
2. 地域共生社会づくり

1. 地域包括ケアシステムの深化

～ 介護保険からの動きも含めて

介護保険から地域包括ケアへ



(理念)

① 自立支援

* 自立とは？

- ➡ 「自己決定」して、サポートを受けながら自分らしく暮らす
- ・ どんな状態でも「自立」はある

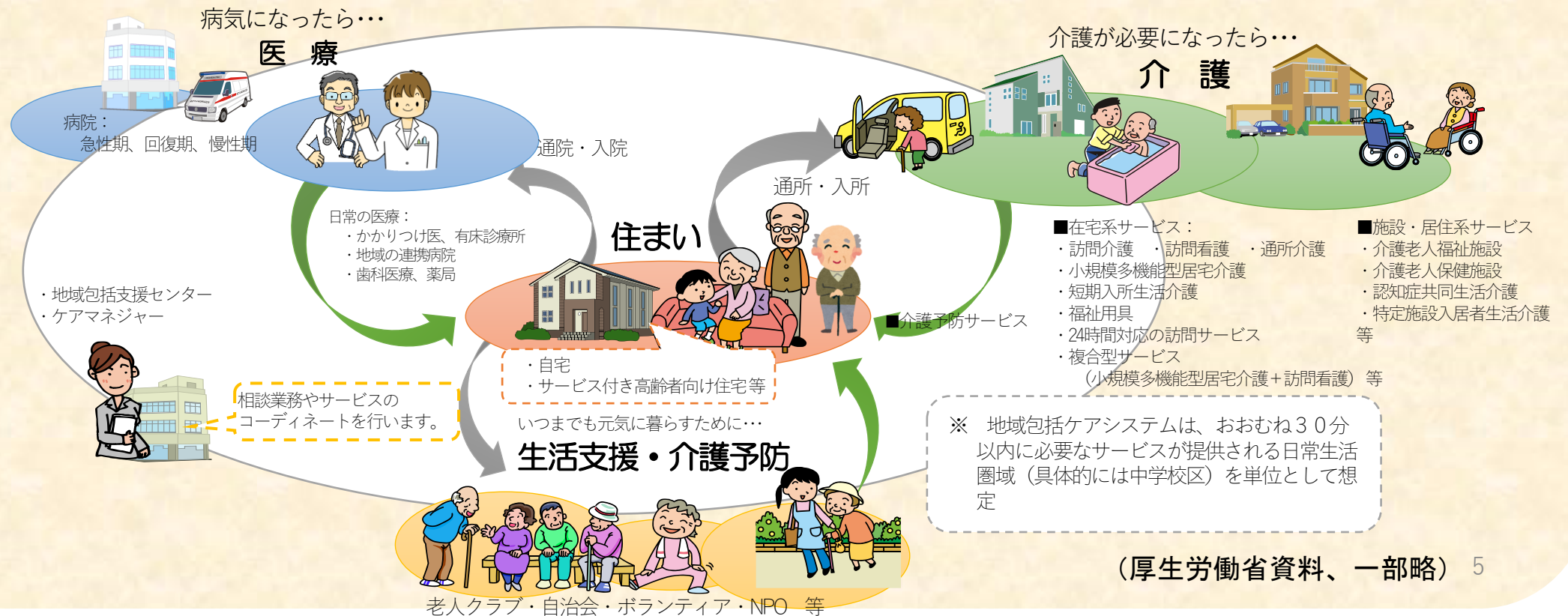
② 利用者本位

③ 社会保険方式

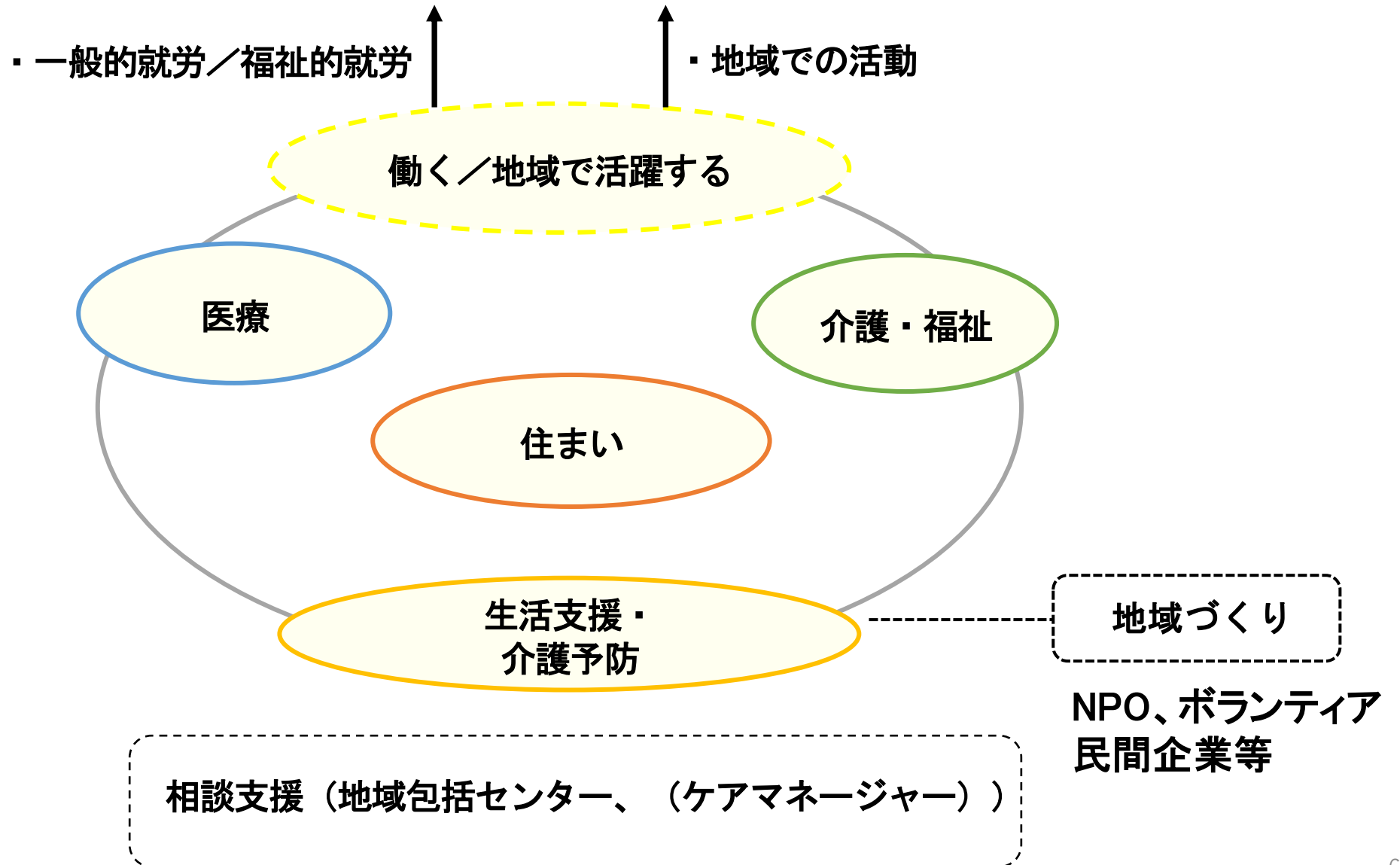
地域包括ケアシステムの構築について

○ 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現。**

（以下 略）



地域包括ケアの構造（高齢者）



地域づくりの強化（民間企業との連携も含めて）

○ 地域の助け合い（NPO, ボランティアなど）

人材の確保が課題

企業の現役、退職者に期待

* ワークライフバランス

* 70歳までの高齢者雇用確保措置

○ 民間企業による市場サービス

* できるだけそれまでの日常生活を継続

* CSRとして ~ 本業として。助け合いとの協働も

(例) スーパー

(例) スローレジ

飲食店

金融機関

スーパー銭湯

移動支援

(例) 「チョイソコ」 (愛知県 豊明市)

など

地域の民間企業が共同で創る「通いの場と手段」 高齢者の通いの場をつなぐオンデマンド型乗合送迎



Confidential

豊明市は、「チョイソコとよあけ」を地域公共交通より高齢福祉政策として推進
高齢者の“通いの場”への移動手段として位置づけ外出目的も併せて創出
(政策比重のイメージ 高齢福祉政策80%:地域公共交通政策20%)

チョイソコは地域のタクシー会社と提携し運行します。
エリアスポンサー（自治体や事業者）からの協賛・広告料により、
運営費用の一部を支えていただくことで
これまでよりも採算性高く運営を維持することが可能です。



地域のタクシー会社と提携し運行することで
既存公共交通とwin-win の関係を築く

就労、社会参加の支援の強化

- 若年性認知症のケース
 - ① 一般就労の支援（継続雇用の支援）
（例）丹野智文さん、自動車販売会社ディーラー
 - ② 福祉的な就労（認知症デイサービスの活用など）
（例）町田市のDAYS B L G（自動車販売店での洗車活動）
 - ③ 社会参加
（例）当事者による相談支援
- 若年性認知症に限らず、認知症の人も、身体的介護を要する人も

DAYS BLG! (東京都町田市) ～社会参加支援～

【基本情報】

- ・地域密着型通所介護事業所で、所要時間7時間以上9時間未満の報酬を算定。加算は、「若年性認知症利用者受入加算」、「認知症加算」を算定。
- ・認知症の方が9割、高次脳機能障害の方が1割の構成。**認知症と診断された初期の段階の方、認知症の症状が初期の方を対象。**

【基本的な理念】

①1日の過ごし方をメンバーが選択

- ・大切にしていることは、**一日の過ごし方や食べるものをメンバーが選択。** 一日をどこで何をして過ごすか**本人が選ぶことが生きる満足感に。**

②地域との連携、社会参加支援

- ・**「介護する側／される側」の分け隔てがなく、**スタッフも利用者、子ども、来客がごちゃ混ぜにいる場であって、**出来ないことを出来る人が助け合いながら**1日を過ごす場。1日の流れは以下のとおり。

時間	内容	時間	内容
9:00	到着	13:00	コーヒータイム
9:45	バイタルチェック&水分補給	13:15	午後の予定選択 (例) 野菜配達、洗車、ボランティア活動、公園散策 他
10:00	午前の予定選択 (例) 営業、ボランティア活動、弁当等の買い物、庭掃除 他	15:50	ティータイム
10:30	各メンバーが選択した活動	16:10	本日の振り返り
12:00	昼食 (例) 弁当、外食	16:30	メンバーさんからの締めあいさつ

(例①) 有償ボランティア：仕事

- ・自動車ディーラーでの洗車業務、レストラン等に提供する玉ねぎの皮むき、カラオケ店の敷地草取り、保育園の雑巾縫い等で、「できること」の範囲で働き、労働の対価として「謝礼」を受け取っている (次頁参照)



(例②) 無償ボランティア：社会における役割

- ・保育園から「子ども達に読み聞かせをしてほしい」との要望を受けて、学童保育や保育園での紙芝居の読み聞かせなどを行う。

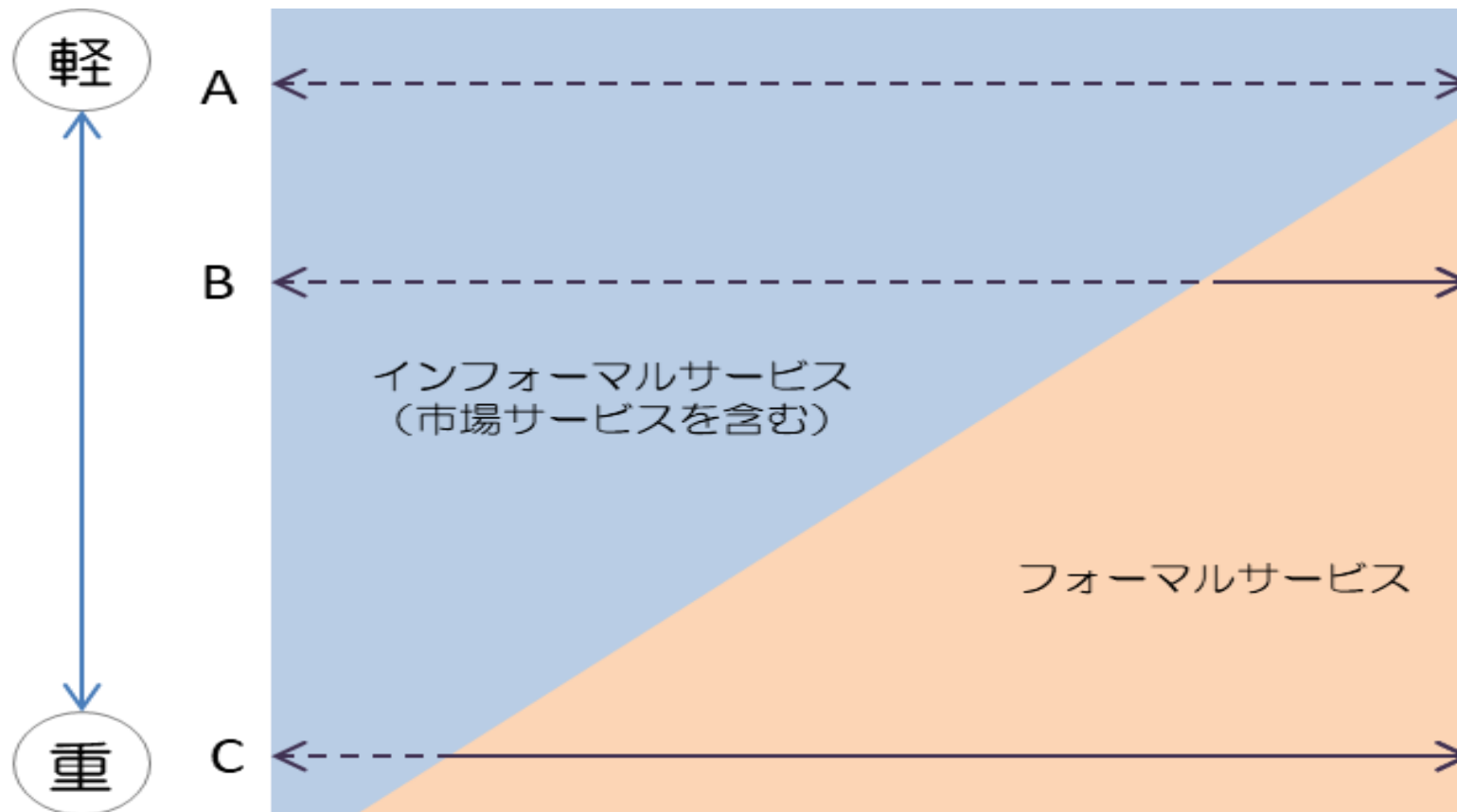


(参考：有償ボランティアの謝礼)

野菜の配達	450円 / 1時間
自動車ディーラーの営業車両の洗車	10,000円 / 1ヶ月
商店街自治会の花壇整備	1,000円 / 1回
コミュニティ情報誌のポスティング	4円 / 1枚 × 320部 (1週間)
地域の高齢者宅の庭整備	5,000円 / 3日
門松制作	20,000円 / 3か月
ボールペン袋詰め	1円 / 1本 (合計1,000本)
認知症講演会	不定

本人の生活を支える「公的サービス」と「民間の助け合い・市場サービス」

- ・ フォーマルサービス = 公的サービス (医療・介護等)
- ・ インフォーマルサービス = NPO等の助け合い + 市場サービス



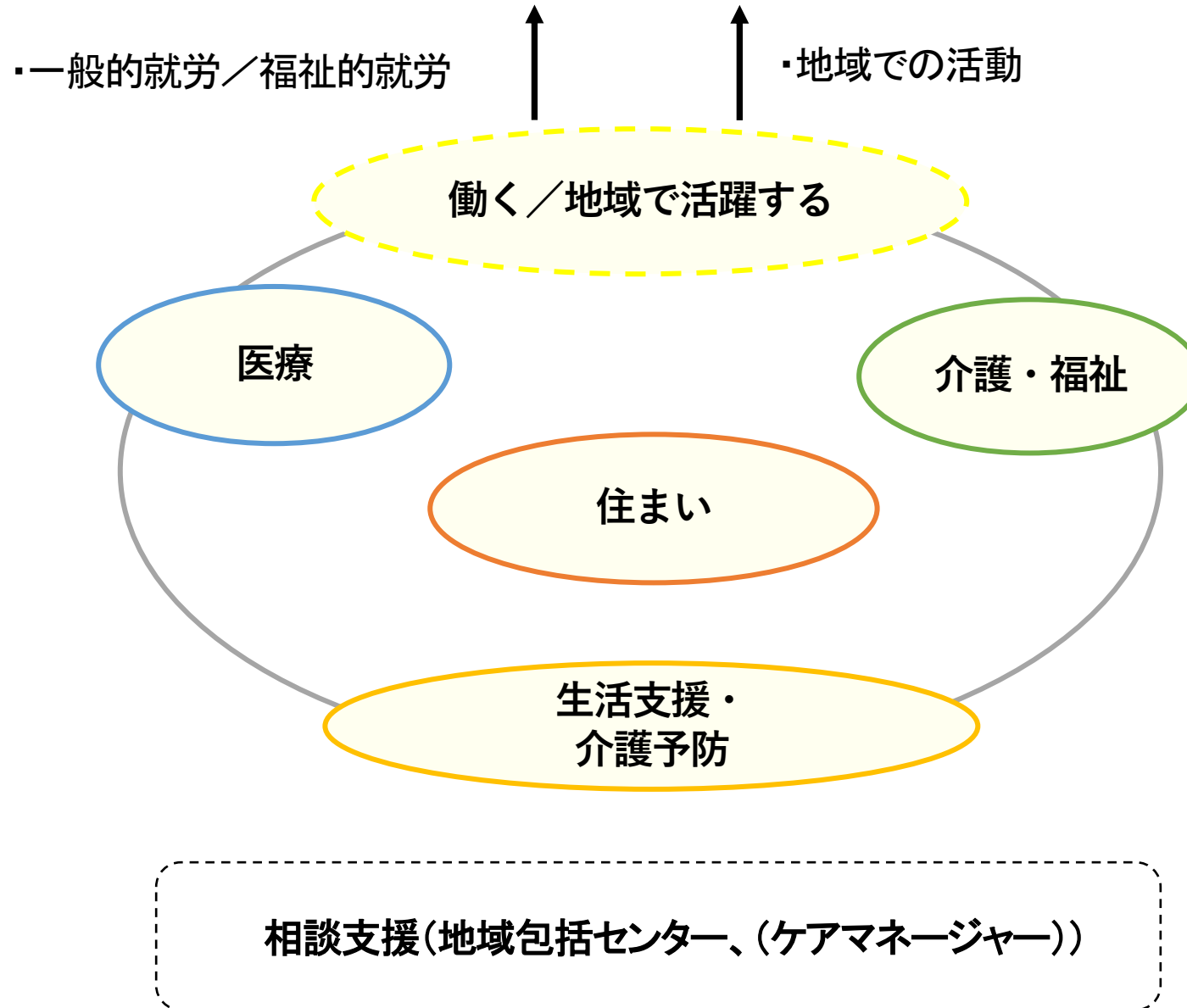
地域づくりに向けての手法

- 生活支援体制整備事業による「生活支援コーディネーター(CO)」や「認知症地域支援員」の実践力向上
- 生活支援CO、認知症地域支援員の活動を支える仕掛け
 - * 地域包括支援センター、ケアマネとの連携
 - * 地域ケア会議 (例)民間企業が参加する愛知県豊明市
 - * 市町村のバックアップ(特に、民間企業との協働について)

(参考)生活支援体制整備事業に、近年、就労的活動支援コーディネーターが新設

2. 地域共生社会づくり

地域包括ケアの構造(高齢の方)

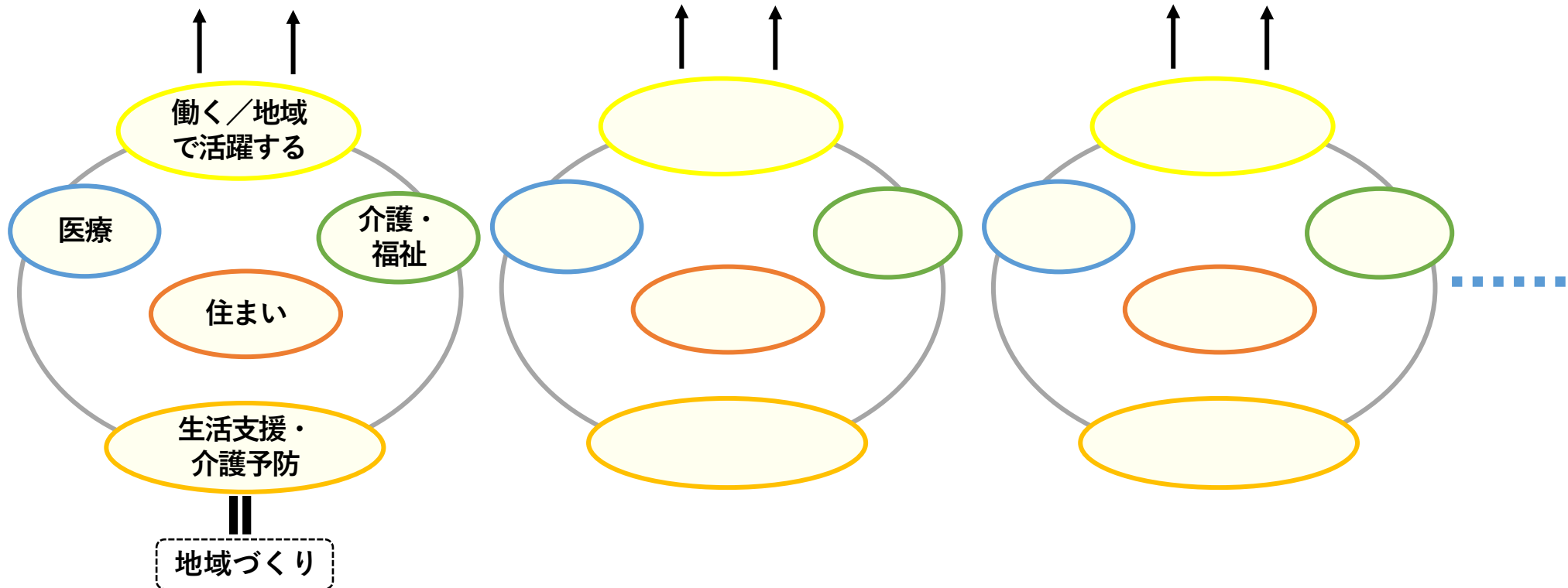


様々な人に対しての地域包括ケア

高齢者

障害者

病気の方



地域共生社会

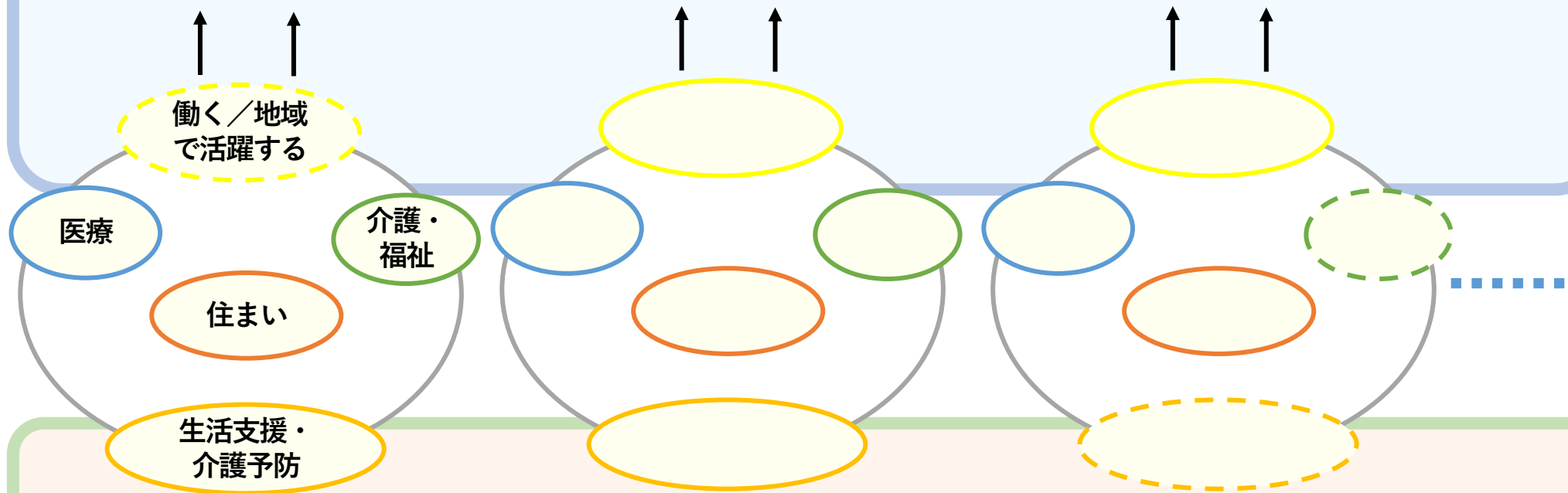
高齢の方

障害のある方

病気を持つ方

子育て中の方など

すべての人の就労・社会活動の場としての地域

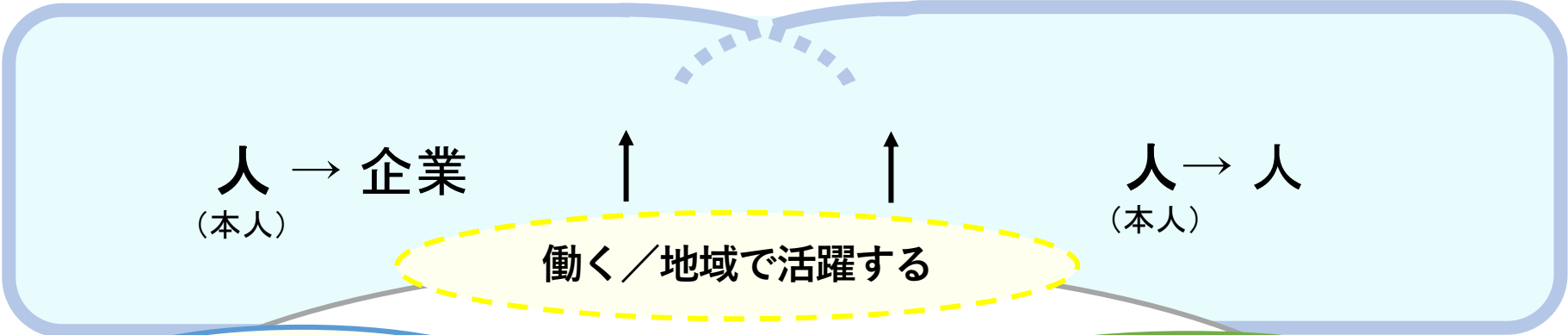


すべての人の暮らしを支える基盤としての地域

相談支援

すべての人

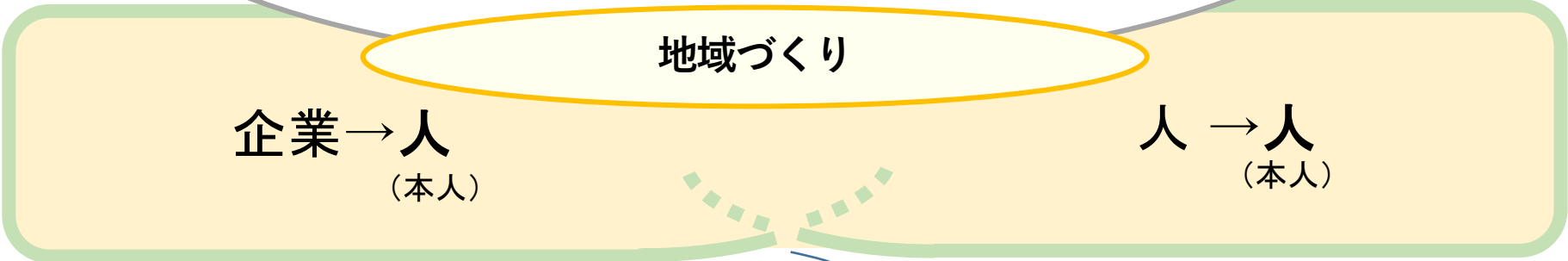
人が地域を「支える」



医療

介護・福祉

住まい



人と地域資源 (経済・企業) の支えあい

人と人の支えあい

相談支援

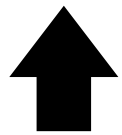
地域共生社会の基本コンセプト

- 「支える側、支えられる側という関係を超えて」
（「支える側」と「支えられる側」が固定しない）

個人の視点 支えられながら、支える

人と人の関係の視点 相互に支え合いながら、生きる

- 「すべての人」



そのための分野横断的支援（公的サービス＋就労等支援、地域づくり）

地域共生社会とは

地域住民や地域の多様な主体が、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会



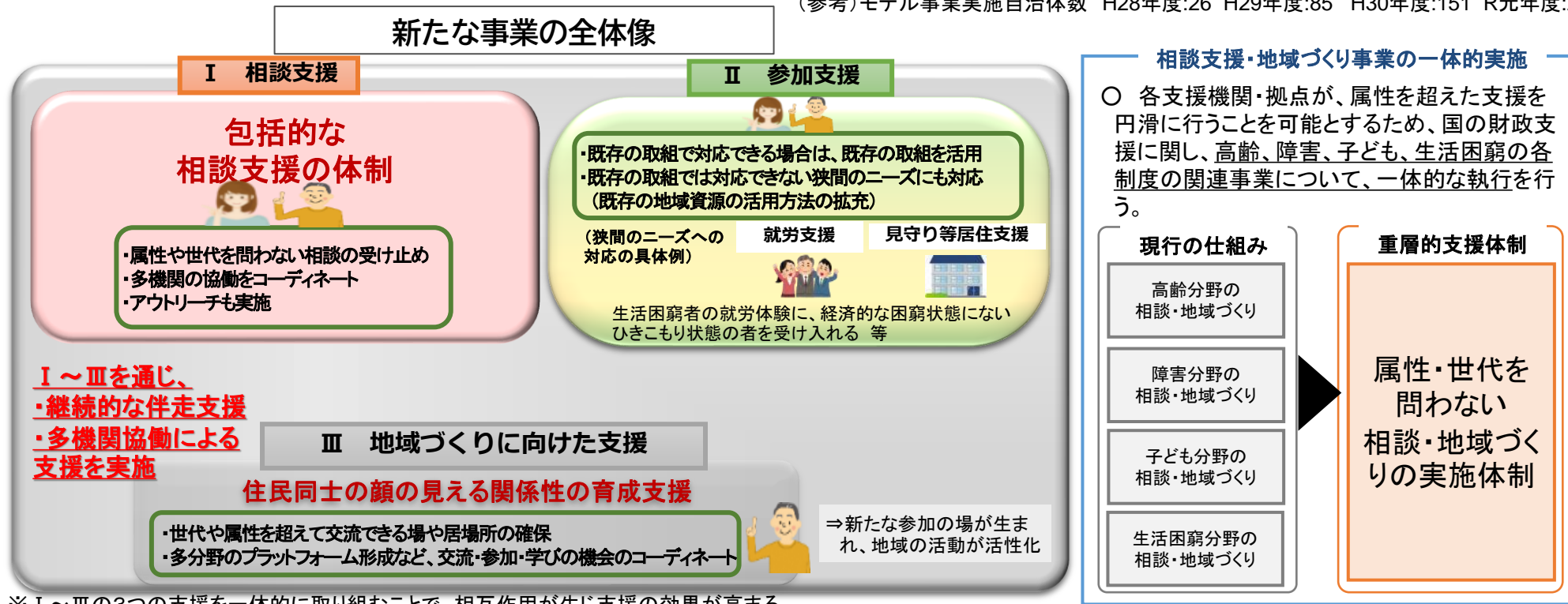
1. 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の重層的な支援体制の構築の支援

- 地域住民が抱える課題が複雑化・複合化(※)する中、従来の支援体制では課題がある。 (※)一つの世帯に複数の課題が存在している状態(8050世帯や、介護と育児のダブルケアなど)、世帯全体が孤立している状態(ごみ屋敷など)
 - ▼属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難。
 - ▼属性を超えた相談窓口の設置等の動きがあるが、各制度の国庫補助金等の目的外流用を避けるための経費按分に係る事務負担が大きい。
- このため、属性を問わない包括的な支援体制の構築を、市町村が、創意工夫をもって円滑に実施できる仕組みとすることが必要。

社会福祉法に基づく新たな事業(「重層的支援体制整備事業」)の創設

- 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、**I 相談支援、II 参加支援、III 地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業を創設する。**
- 新たな事業は実施を希望する市町村の手あげに基づく**任意事業**。ただし、事業実施の際には、I～IIIの支援は必須
- 新たな事業を実施する市町村に対して、相談・地域づくり関連事業に係る補助等について一体的に執行できるよう、**交付金を交付する。**

(参考)モデル事業実施自治体数 H28年度:26 H29年度:85 H30年度:151 R元年度:208



※ I～IIIの3つの支援を一体的に取り組むことで、相互作用が生じ支援の効果が高まる。
 (ア)狭間のニーズにも対応し、相談者が適切な支援につながりやすくなることで、相談支援が効果的に機能する
 (イ)地域づくりが進み、地域で人と人とのつながりができることで、課題を抱える住民に対する気づきが生まれ、相談支援へ早期につながる
 (ウ)災害時の円滑な対応にもつながる